

『修学旅行ホームページコンクール』が、月刊『悠』（株式会社ぎょうせい）平成17年5月号にて紹介されました。
（以下、文章は同記事からの抜粋）

『子どもの興味・関心を生かしたグループ活動』

宮城県涌谷町立涌谷中学校は昨年五月、東京へ二泊三日の修学旅行を行った。子どもたちの興味・関心をもとに、「産業・経済」「自然・環境」「情報」「生活・文化」「政治・経済」「街づくり」「メディア」も七つの学習テーマを設定し、二四のグループに分かれて、それぞれの学習に取り組んだ。「産業・経済」では日本の最新技術を、「情報」ではテレビ制作を、「生活・文化」では東京の名物やファッションについて、「街づくり」では主に浅草を対象に街の様子を調べ自分たちの街と比較するなど、明確なテーマをもった学習旅行となった。

事前学習では、訪問先を自分たちで調べ、質問を考え、見学先を写真や文章にまとめた。旅行中は、寄席や歌舞伎の観劇などをはじめ、横浜の動物園「ズーラシア」や葛西臨海公園などを訪問するクラス別研修、学習テーマごとのグループによる訪問活動などを行った。特にテーマ別の活動では、テレビ局のスタッフや、菓子職人、調理師など働く人々から直に話を聞き交流する活動に積極的に取り組み、仕事を通して働く人たちの苦労や工夫などを学習。事後学習では、テーマ別の壁新聞を作成したり、修学旅行の思い出を俳句にしたりして、修学旅行の成果を確認し合った。

子どもたちの自主性と様々な集団活動が生かされた修学旅行となったようだ。

地域で実体験。携帯電話で中継も

山形県戸沢村立角川小学校では昨年九月十六、十七日に、六年生が仙台への修学旅行を行った。子どもたちで決めたテーマは「仙台の産業」。かまぼこ店、博物館、日銀仙台支店、仙台高等裁判所など、子どもたちはインターネットなどで訪問先を調査、行程も自分たちで決め、しおりづくりなども分担して制作した。学習テーマの設定から訪問先の選定、行程づくりなど、自分たちの旅行を自分たちでつくっていくのが角川小の修学旅行だ。

仙台の名産・笹かまづくりの老舗に訪問した子どもたちは、まず笹かまづくりの説明を聞き、実際に自分たちでつくってみることに。かまぼこの表面が乾くまで忍耐強くあぶり、焦がさないように気をつけながら徐々に焼いていく地道な作業を体験した。出来上がった笹かまに舌鼓を打ちながら、子どもたちは、笹かまが丁寧につくられていることを知り、作り手の思いにも感じ入ったという。「笹かまって奥が深い。これからは味わって食べなければ」という感想が同小のホームページに載せられている。

仙台高等裁判所では、法廷内に入ることを許され、模擬裁判も行った。係官から法廷についての話を聞き、裁判官、検察官、弁護団のグループに分かれ、シナリオをもとに擬似裁判に取り組んだ。緊張した面持ちで子どもたちは裁判を体験し、「裁かれることのないようにしたい」との感想が寄せられた。

同校では、事後学習にも積極的に取り組んでいる。学級便りや新聞などで修学旅行の様子を報告。文化祭では、模擬裁判の台本を自分たちで作り発表した。

さらに、同校の特色なのが携帯電話による「旅行ライブ中継」。出発から、各地の見学、車中の様子などが携帯電話の写真で学校に送られている。それを学校のホームページに掲載し、生中継を行おうというもの。保護者には大変好評とか。インターネットや携帯電話を活用した新しい修学旅行づくりに取り組んでいるのが角川小学校の試みだ。

「見る」から「学ぶ」へ

涌谷中学校と角川小学校は、このほど(財)全国修学旅行研究協会が主催した「修学旅行ホームページコンクール」に入賞した。ホームページの充実ぶりとともに、修学旅行そのものの内容が評価され、角川小は文部科学大臣奨励賞を受賞した。

三月一七日に行われた授賞式に出席した加藤卓教諭は、「自分たちで（修学旅行を）つくったということから、楽しんで取り組めたようです。特に旅行後、子どもたちが以前に増して仲が良くなった気がしますね。クラスの雰囲気も良くなったし、何よりも子どもたちがいろいろなことに積極的になりました」と、修学旅行の思わぬ効果に手応えを感じた様子。

子どもの自主性やITを生かした修学旅行は、「見る旅」から「学ぶ旅」へとその姿を変えつつあるようだ。

月刊『悠』について

行政・法律・教育・経営・税務等各分野の実務書をはじめ、一般教養書、児童書、写真集等の出版活動を行っている、株式会社ぎょうせい（伊藤陽司社長）発行の月刊誌。

教育界の話題をユニークな視点からとらえた特集記事や、学級担任から校長まで実務に役立つ連載、学校経営の工夫を考える充実した講座などを掲載。その他、個性豊かで人間味のある教師のための肩のこらない読み物特集など、長期的・多角的な視野からとらえる“学びの場をサポートする”総合教育誌。

株式会社ぎょうせい（〒104-0061 東京都中央区銀座7丁目4-12 / TEL03-3571-2126）